



中部電力

浜岡原子力発電所 基準地震動・基準津波等の審査スケジュールについて

2023年3月9日

目次

1 各審査項目の審査の進捗状況, 対応状況	3
2 審査スケジュール	5

1 各審査項目の審査の進捗状況, 対応状況 敷地の地質・地質構造, 基準地震動

第1089回審査会合(2022年11月1日)からの審査状況等の更新を赤字で示す。

■現状の各審査項目の審査の進捗状況, 対応状況は以下のとおり。審査を遅滞なく進めていただけるよう各審査項目の対応を行っている。

(1) 敷地の地質・地質構造

項目	審査状況・対応状況等の概要	関連する審査会合 (予定含む)
評価対象とする断層の代表性	敷地においては, 最後に活動した断層と考えられるH断層系を活動性評価の対象とし, 以降の検討を行うことについて概ね理解を得られた。	第962回審査会合 (2021年4月2日)
H断層系の同一性	H-m4~H-m0, H-1~H-9断層の活動時期はすべて同じ時代であり, それらの活動性は, どの断層でも代表できると判断されることから, H-9断層の活動性をもって評価することについての考え方はご理解いただいたが, 上載地層の堆積年代評価の妥当性も含めてH-9断層ですべてのH断層の活動時期を代表できるかどうかについて, 現地調査を実施し内容を確認していくとされた。	第1035回審査会合 (2022年3月18日) ➡ 現地調査にて確認。
H断層系の活動性 (H-9断層)	H-9断層の上載地層(「泥層」)の堆積年代評価について, ①「泥層」の堆積年代評価方針, ②地形学的調査, ③「泥層」の調査, ④「泥層」と古谷泥層との対比, ⑤「泥層」と古谷泥層以外の堆積物との対比の課題を認識したうえで, 新たなデータを取得し, 論理構成を必要に応じて再考, 明確にし, 科学的データに基づく確実な評価結果を示すこととの指摘を受け, 泥層の広域的な分布, 笠名礫層による古谷泥層の削り込みの探索等を全力で取組み(年末～年度末を目標)を進めている。現在進めている追加調査の目論見とそれに基づく対応方針を説明していく。並行して調査・分析を進めておりデータがそろった段階で説明を行う予定。	第1078回審査会合 (2022年9月30日) ➡ 追加調査, 追加検討を行う。 第1105回審査会合 (2022年12月23日) ➡ 目論見を持った調査とそれに基づく対応方針の説明を行っていく。 第1122回審査会合 (2023年3月9日)

(2) 基準地震動

項目	審査状況・対応状況等の概要	関連する審査会合 (予定含む)
敷地ごとに震源を特定して策定する地震動評価	延べ21回の審査会合で審議いただき, 敷地ごとに震源を特定して策定する地震動評価について概ね理解を得られた。	第1041回審査会合 (2022年4月15日)
震源を特定せず策定する地震動	先行審査での指摘事項を踏まえ, 標準応答スペクトルに基づく地震動の評価に用いる地下構造モデル(SGFモデルに変更), 地震規模(M7.0)等をご説明。震源を特定せず策定する地震動でもS波低速度層による増幅を考慮した評価を行うことなどのコメントを受け, 継続審査中。 ➡ コメント回答資料を作成中。	第1117回審査会 (2023年2月24日) ➡ コメント回答資料作成後, 審査会合で説明予定。
基準地震動の策定	免震構造の採用を踏まえた基準地震動の作成, 妥当性確認や応答スペクトル法のSsの水平動と鉛直動の比率を踏まえた妥当性の説明等を取り入れた上で, 審査資料は取り纏め。	➡ 震源を特定せず策定する地震動の審査が終わり次第, 審査会合で説明予定。

基準津波, 火山, 基礎地盤

第1089回審査会合(2022年11月1日)からの審査状況等の更新を赤字で示す。

(3) 基準津波

項目	審査状況・対応状況等の概要	関連する審査会合 (予定含む)
プレート間地震の津波評価	敷地への影響が最も大きい津波であり, 延べ9回の審査会合で議論いただいた。水位上昇側(敷地前面T.P. + 22.7mなど)、水位下降側(3,4号取水塔の水位低下時間13.6min)の評価結果についてはおおよそ理解をいただいた一方で, プレート間地震の津波評価全体の方針, 論理構成を再点検し, 一連の体系的な内容として整理された資料とするようコメントを受け, 継続審査中。 ➡ コメント回答資料を作成中。	第1109回審査会合(2023年1月27日) ➡ コメント回答資料作成後, 審査会合で説明予定。
地震以外の要因による津波(地すべり, 火山現象)	延べ3回の審査会合で議論いただいた。現状残っている指摘事項は, 「過去の噴火規模に関する情報が不足している海底火山による津波については, 評価方針も含めてその影響評価について説明すること」を含め3つである。 ➡ コメント回答資料は作成済。	第862回審査会合(2020年5月21日) ➡ 今後, ヒアリングを開始し審査会合で説明予定。
地震による津波(主に海洋プレート内地震, 海域の活断層による地殻内地震)	先行して審査済の浜岡の活断層評価, 地震動評価の審査結果を踏まえ, 海域の活断層の断層長さの変更, 海洋プレート内地震の地震規模に関する検討の反映等を行っており, 審査資料は作成済。	➡ 今後, ヒアリングを開始し審査会合で説明予定。
基準津波の策定(津波の組合せ)	他サイトでの審査実績を踏まえ, 津波の組合せの対象とする波源の選定, 時間差の検討方法, 津波の時間差を検討する評価地点の説明を取り入れた上で, 審査資料は取り纏め。なお, 基準津波の策定の全体方針は, 上記各項目の審査資料の中にも記載している。	➡ 各要因による津波評価の審査が終わり次第, 審査会合で説明予定。

(4) 火山

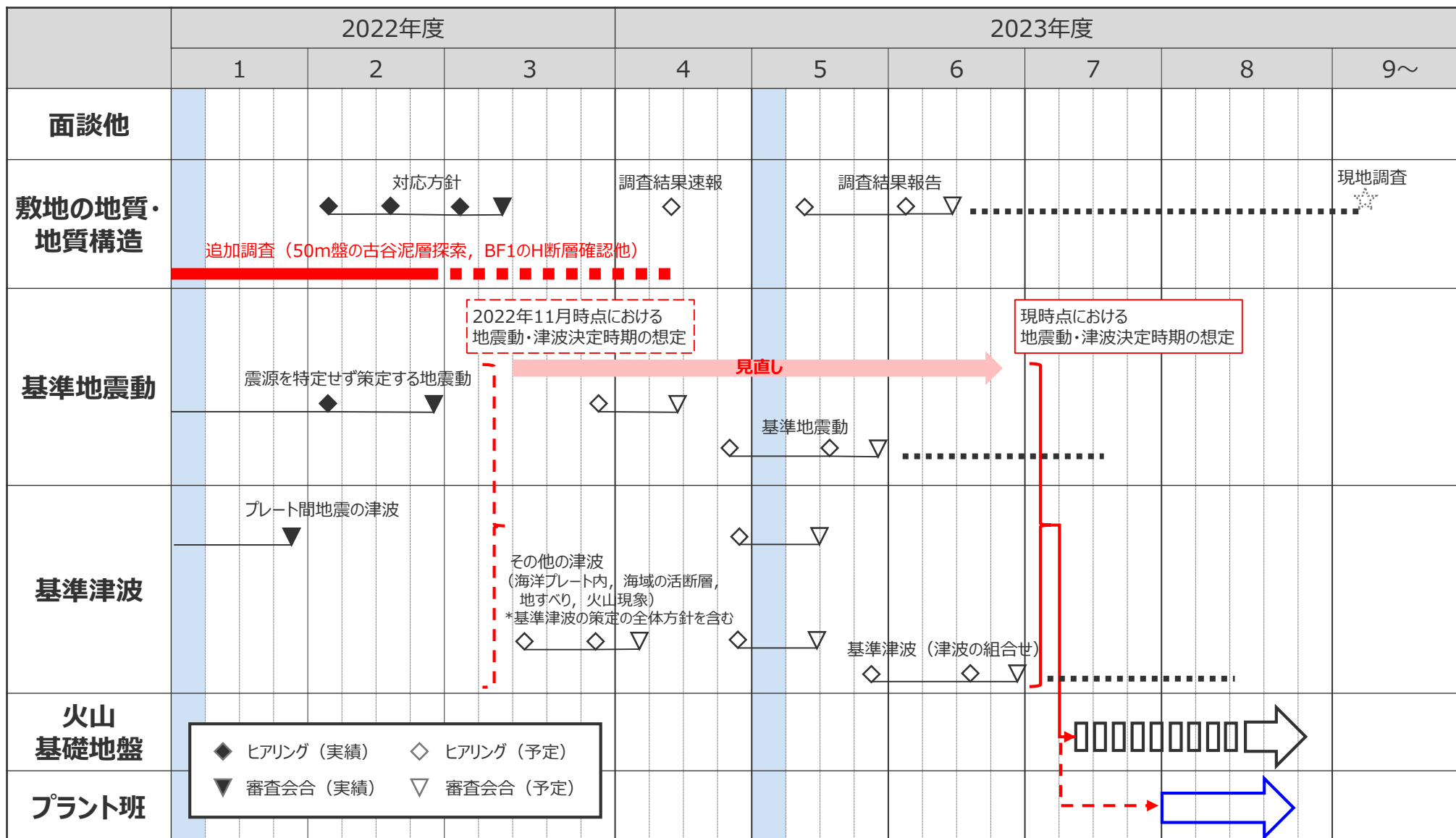
項目	審査状況・対応状況等の概要	関連する審査会合 (予定含む)
火山影響評価	過去2回のヒアリングを実施。また, 火山現象による津波評価と関連して, 「火山の活動履歴の調査」について審査会合で説明。現在, 最新知見の反映等を行っており, 審査資料は取り纏め。	第862回審査会合(2020年5月21日) ➡ Ss, 基準津波確定後に審査会合で説明予定。

(5) 基礎地盤

項目	審査状況・対応状況等の概要	関連する審査会合 (予定含む)
基礎地盤	ヒアリング未実施。先行審査での指摘事項を踏まえて検討中。	➡ Ss, 基準津波確定後に審査会合で説明予定。

2 審査スケジュール

■第1089回審査会合（2022年11月1日）に提示した基準地震動・基準津波等の審査スケジュールに対し、審査状況や資料の準備状況を踏まえた現状の希望スケジュールは以下のとおり。2023年5～6月頃を目指して基準地震動、基準津波の審査会合に入り、プラント班審査に繋がってきたい。





中部電力